



あかぎ しろぞう
赤木 四郎藏 氏

生年月日 明治 30 年 3 月 16 日生

住 所 田辺市南新町

明治 30 年 (1897 年) 3 月 16 日、西牟婁郡鮎川村 (現田辺市鮎川) に生まれる。

大正 10 年 (1921 年)、南新町の現在地に医師として開業して以来 60 年になんなんとする間、住民の保健指導、疾病治療に専心、要請があれば昼夜をいとわず往診に走るなど常に誠意をもってあたり幾多の尊い生命を救い、地域住民からは慈しみ深い父親のごとくに敬慕されている。

昭和 5 年 (1930 年) に医学博士の学位を取得し、始終医学の研究に努め、医師として戦前、戦後を通じて当地方の保健指導に貢献した業績は極めて大きく、また保健行政の分野においても積極的な協力を惜しまず、住民の予防接種、乳幼児検診、一般健康診断等率先してその任にあたったほか、学校保健医として児童生徒の保健指導にも永年にわたり献身的な努力を続けた。

さらに、医師会創立当時以来当地方の医界発展にも尽力した。この間、田辺市医師会所属准看護婦養成所を設立し、その所長として看護婦養成にあたり、看護婦の確保に尽力した。

また、医業に携わるかたわら茶道に精進し、茶禅一味の境涯の自得に向け、茶道表千家流に入門、各科目の伝授を受けた。昭和 23 年 (1948 年)、茶道表千家流の道と同じくする者 9 人により田辺松風会を設立し、以来会長として茶道の普及指導にあたっている。この会は、唐物点以上の資格を有する者による権威ある会で現在会員は 70 名を数え、特に会員には年 2 回表千家の宗家が直接指導されている。

83 歳の現在、なお矍鑠 (かくしゃく) として医業に、茶道にと活躍されている姿は頼もしい。

(略 歴)

大正 8 年 (1919 年) 3 月	京都府立医学専門学校卒業
大正 8 年 (1919 年) 4 月	京都府立病院助手
大正 10 年 (1921 年) 10 月	医師開業
昭和 5 年 (1930 年) 4 月	田辺第二尋常高等小学校校医
昭和 5 年 (1930 年) 8 月	医学博士称号取得
昭和 6 年 (1931 年) 3 月	西牟婁郡及び田辺医会理事

第 11 回 (昭和 55 年)

昭和 24 年 (1949 年) 2 月	田辺市医師会副会長
昭和 24 年 (1949 年) 4 月	田辺市立東陽中学校校医
昭和 27 年 (1952 年) 3 月	田辺市医師会長
昭和 27 年 (1952 年) 4 月	田辺市立高雄中学校校医 田辺保健所運営協議会委員 田辺市医師会所属准看護婦養成所長
昭和 32 年 (1957 年) 2 月	田辺地区納税貯蓄組合連合会長
昭和 33 年 (1958 年) 3 月	田辺市医師会長
昭和 33 年 (1958 年) 4 月	田辺保健所運営協議会委員 田辺市医師会所属准看護婦養成所長
昭和 34 年 (1959 年) 7 月	和歌山県納税貯蓄組合連合会副会長
昭和 34 年 (1959 年) 10 月	田辺市国民健康保険運営協議会委員
昭和 36 年 (1961 年) 8 月	南新町町内会長
昭和 39 年 (1964 年) 4 月	田辺市医師会長 田辺保健所運営協議会委員 田辺市医師会所属准看護婦養成所長
昭和 39 年 (1964 年) 7 月	田辺市国民健康保健運営協議会委員
昭和 40 年 (1965 年) 7 月	田辺西牟婁地区献血推進協議会委員
昭和 41 年 (1966 年) 5 月	田辺市学校保健協会会長
昭和 47 年 (1972 年) 4 月	田辺市立中芳養幼稚園、小学校、中学校校医

(受賞歴)

昭和 36 年 (1961 年) 10 月	和歌山県知事表彰
昭和 39 年 (1964 年) 11 月	大阪国税局長表彰
昭和 41 年 (1966 年) 11 月	勲五等双光旭日章
昭和 54 年 (1979 年) 5 月	法務大臣表彰